

熊本西環状道路（砂原工区）等の新規事業箇所の設定

を受けての市長コメント

本日、国において、本市が事業主体である「熊本西環状道路（砂原工区）」（3.8km）の新規事業箇所の設定について発表がありました。

この発表を大変嬉しく受けとめており、ご尽力いただいた関係者の皆さまに感謝申し上げます。

また、国が事業主体である「中九州横断道路」についても、大津西～合志間の新規事業箇所の設定並びに、熊本環状連絡道路の計画段階評価を進めるための調査実施についての発表もあわせて行われております。

熊本都市圏の環状機能を担う「熊本西環状道路」が整備され、「九州自動車道」や「中九州横断道路」と連絡することにより、都市圏の慢性的な渋滞緩和、大規模災害時における代替路の確保のほか、熊本港等の交通・物流拠点へのアクセス性が高まり、TSMC及び関連企業が進出する工業地域等の物流安定輸送につながることから、都市圏の発展へ大きく貢献するものと非常に期待しております。

本市といたしましても、一日でも早い「熊本西環状道路」の完成を目指し、熊本都市圏の広域道路ネットワークの早期実現に向けて、国、県、沿線自治体と連携を深めながら取り組んで参ります。

令和4年（2022年）3月25日

熊本市長 大西 一史